

## 社会と歯科医療・チーム医療（大学間連携 IT 教育）（5 年）

コーディネーター： 補綴・インプラント学分野 近藤尚知 教授  
 歯科麻酔学分野 佐藤健一 教授  
 摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野 小林琢也 教授

第 5 学年 通年

講義  
 2.0 時間

### 教育成果（アウトカム）

我が国では超高齢社会の到来により、様々な基礎疾患を有する患者が、歯科を受診する率が高まっている。さらに、介護が必要な高齢者の増加と共に呼吸器感染症の予防や摂食嚥下機能の維持・回復のための口腔ケア等の重要性が高まっている。

そこで国民の健康に貢献できるオーラルフィジシャン（口腔科医）となるために、高齢者に多くみられる全身疾患、口腔症状を理解し、それに加えて、医療の仕組みと多職種連携のチーム医療についても理解しておく必要がある。これらの内容については、e-Learning（三大学連携 IT 教育システム）を通して、知識と技能を修得する。

（ディプロマ・ポリシー：1、2、3、4、5）

### 事前学修内容及び事前学修時間（30 分）

事前学習（予習）は、シラバスに記載されている各回到達目標の内容に関し、教科書等を参考にし、Webclass、e-learning として提示される事前学習課題を学習しておくこと。本内容はすべての講義に対して該当するものとする。

### 特記事項・その他

講義担当者は、学生参加型講義を実施するために、必要に応じて過去の国試問題等を演習用に準備し、演習と解説の成果・習得の確認を行う。

### 講義日程

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 【コア・カリキュラム】
9 月 1 日（火） 2 限（9:50～ 10:50）	小林琢也教授 （摂食嚥下・口腔リ ハビリテーション 学分野）	<b>オリエンテーション</b> 高齢者の歯科医療  三大学連携 IT 教育の目的、使用設備と教材について理解する。  基礎疾患を有する患者の歯科診療を理解する。	1. 三大学連携 IT 教育で学ぶ目標を説明する。 2. IT システムを利用できる。 3. ヴァーチャルペーシェントを利用できる。 4. 糖尿病を有する患者の治療計画を立案できる。 5. 高血圧症を有する患者の治療計画を立案できる。 6. 不整脈を有する患者の治療計画を立案できる。 [A-5-1)、A-7-1)-③、E-5-1)-①②]

月 日	担当者	ユニット名 内 容	到達目標 [コア・カリキュラム]
9月1日(火) 3限(11:00～ 12:00)	小林琢也教授 (摂食嚥下・口腔リ ハビリテーション 学分野)	急性期と回復期におけ るチーム医療  IT教材を用いて、急性 期と回復期における多 職種連携のチーム医療 を理解する。	1. 入院患者の歯科医療行為の適否につい て評価できる 2. 入院患者に安全な口腔ケアを実行できる。 3. 入院患者の嚥下機能のアセスメントが できる 4. 入院患者に必要な歯科医療を行うため に、地域のかかりつけ歯科医師に適切な 情報提供ができる。 5. 訪問歯科診療における治療計画の立案 ができる。 [A-5-1)、A-7-1)-③、E-5-1)-①②]

#### 成績評価方法

IT教材を利用した三大学共通試験、e-Learning 演習、演習に関するレポート（演習時の態度も重視）の結果から総合的に判定を行う。

#### 備考

「高齢者に対するチーム医療」をテーマとし、IT教材を用いた演習を行う。

実施期間：臨床実習期間中に順次実施する。

演習担当教員：佐藤健一教授(歯科麻酔学分野)、村井治助教（歯周療法学分野）、

須和部京介非常勤講師（歯周療法学分野）、近藤尚知教授、米澤悠助教（補綴・インプラント学分野）、小林琢也教授（摂食嚥下・口腔リハビリテーション学分野）、熊谷章子准教授(法歯学・災害口腔医学分野)